

「新中温度域超伝導材料の特性に関する調査研究会」 (29年度第1回)のご案内

皆様

昨年度まで実施しておりました「新中温度域超伝導材料の特性に関する調査研究会」の後継として今年度より「中温度域超伝導材料の実用性能に関する調査研究会」を実施する運びとなりました。今年度の第1回調査研究会を5月24日(水)に開催いたします。会場は、低温工学・超電導学会のC会場となっております。

第1回調査研究会では、先の調査研究会の総括の際に特に強く要望いただきました各種超伝導線材の現状について線材メーカーの方々にお話しいただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

記

2017年度第1回 中温度域超伝導材料の実用性能に関する調査研究会

日時:平成29年5月24日(水) 16:00~18:00

場所:低温工学・超電導学会 C会場(タワーホール船堀内)

講演内容:中温度域超伝導線材の現状・最新動向について

1. 講師:児玉 一宗(日立製作所)“MgB₂線材の現状について”
2. 講師:五十嵐 光則(フジクラ)“REBCO線材の現状について”
3. 講師:菊地 昌志(住友電工)“Bi2223線材の現状について”

以上

中温度域超伝導材料の実用性能に関する調査研究会

主査 井上昌睦(九州大学)

幹事 下山淳一(青山学院大学)、松本明善(NIMS)、吉田良行(AIST)